

基準値（有効治療濃度）変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度弊社では下記項目におきまして、基準値（有効治療濃度）を下記のように変更させていただく事に致しましたのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目

- 641 フェニトイン
- 642 フェノバルビタール
- 644 カルバマゼピン

変更内容

コード	検査項目	変更箇所	新	旧	備考
641	フェニトイン	有効治療濃度	$\mu\text{g/mL}$ 成人・小児 10.0～20.0 新生児 8.0～15.0	$\mu\text{g/mL}$ 10.0 ～ 20.0	日本 TDM 学会編 : 抗てんかん薬 TDM 標準化ガイドライン 2018 に準拠
642	フェノバルビタール	有効治療濃度	$\mu\text{g/mL}$ 10.0 ～ 40.0	$\mu\text{g/mL}$ 10.0 ～ 35.0	
644	カルバマゼピン	有効治療濃度	$\mu\text{g/mL}$ 4.0 ～ 12.0 他の抗てんかん薬併用時: 4.0 ～ 8.0	$\mu\text{g/mL}$ 4.0 ～ 12.0	

実施期日

- 令和2年 5月11日（月）受付日分より